

平成18年9月28日

6号機使用済燃料プールにおけるロープの発見・回収に関する 調査結果について

当所6号機は定格熱出力一定運転中ですが、平成18年9月4日、使用済燃料の構内輸送^{*1}のため、輸送容器を収納する使用済燃料プールのピット内を確認していた協力企業作業員がロープらしきものを発見したことから、同日、ロープ2本（各々長さ約2.3m、太さ約6mm）を回収いたしました。
（[平成18年9月4日お知らせ済み](#)）

調査の結果、回収した2本のロープは、片側にテープによるほつれ防止が施されていましたが、もう一方はほつれており、また、比較的新しいことから、当該ピットにおける至近の作業を確認したところ、ハフニウム板型制御棒の外観点検作業^{*2}において、固縛などの用途で同一仕様のロープを使用していたことがわかりました。当該作業の異物混入防止チェックシートには員数管理上の不整合は生じていませんでしたが、固縛したロープが濡れた場合などは手で緩めることが困難となるため、回収時に切断することがありましたが、その際の員数管理方法が明確になっていなかったことがわかりました。

ロープが当該ピットへ落下した原因は、当該作業においてロープを切断した際、当該ピット周辺に置かれ速やかに回収されなかったため、落下したものと推定いたしました。

対策として、ロープのように形状が変化したり切断により数量が変化する物品の搬出入については、チェックシートへの記載方法を改めることといたします。また、やむを得ず異物混入防止管理エリア内でロープを切断する場合は、専任監視員が立ち会い、切断したことをチェックシートに記載するとともに、切断したロープを速やかに回収することといたします。

今後とも、引き続き異物混入防止対策を徹底してまいります。

以 上

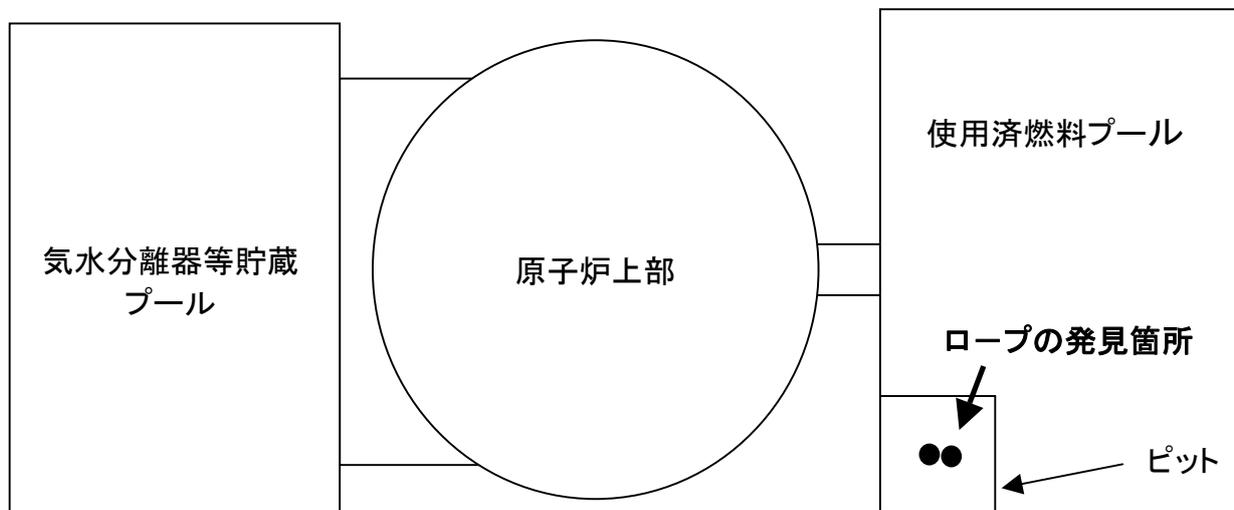
* 1 使用済燃料の構内輸送

原子炉建屋の使用済燃料プールから構内にある使用済燃料共用プールへ、専用の輸送容器を用いて輸送する作業。

* 2 ハフニウム板型制御棒の外観点検作業

定期検査中の平成 18 年 1 月 9 日、制御棒の動作を確認するための準備作業を実施していたところ、制御棒 1 本の表面にひびらしきものを確認したことから、同一仕様の制御棒（ハフニウム板型制御棒全 17 本）の外観点検を行った。

原子炉建屋6階平面図



回収したロープ（各々長さ約 2.3m、太さ約 6mm）

6号機使用済燃料プールでのロープ発見・回収概略図